



メラだより

かきつばたマラソン大会に
参加した皆さん



まちを楽しくしてくれる人たちって、イイネ! 市民ボランティア活動センター(1月19日)



さまざまな価値観の人が集まり、お互いの立場を尊重しながら語り合う現代版井戸端会議、わがまちのしゃべり場。11回目を迎える今年度は、刈谷を盛り上げる活動をしている7人をテーブルゲストに迎え、開催されました。普段なかなか関わることができない人との会話に話題は尽きず、参加者たちは時間を忘れて地域の行事や課題について語り合っていました。

見て見て!ぼくの描いた絵はこれ! 美術館(1月23日~27日)



市内17の公私立保育園全園児の描いた絵が展示されるちびっこ絵画展。19回目を迎えた今年も、家族、遊び、大好きなキャラクターなど、子どもたちが思いのままに描いた作品が飾られました。他にも、普段の園での様子を写真で掲示したり、スタンプラリーや記念写真コーナーを設けたりと、楽しく鑑賞できる工夫も。会場を回りながら、家族の会話も笑顔も弾んでいました。

ひなまつりの準備はOK? 郷土資料館(2月7日~3月10日)



県内の博物館・資料館を巡る「ひなまつりスタンプラリー」が開催中です。七段飾りの本格的なひな人形や江戸時代に作られたものなど、さまざまな人形が展示してあります。「ここでもう3つ目のスタンプです」とうれしそうに押す夫婦の姿も。女の子の母親は、「これからひな人形を飾ります」と話していました。

刈谷を駆け抜ける 総合運動公園(2月10日)



快晴の中行われた、第46回刈谷市かきつばたマラソン大会。子どもから大人まで約2,000人のランナーたちが部門別に決められたコースを走り切りました。少しでも良い成績を残そうとレース中は真剣そのもの。しかし、レースが終わるとお互いの走りをたたえあう場面が見られました。また、中にはチームでおそろいのTシャツを着て走る姿も。参加者たちは走ることを通じて交流を深めていました。